

2021

上半期レポート

令和3年4月1日~9月30日

夢ある未来のお手伝い! 親近バンク



夢ある未来のお手伝い！親近バンク



これからも一層、地元中小企業育成、地域経済の活性化を目指してまいります

地域のお客さまからお預かりした大切な資金(預金・積金)を、地域で資金を必要とするお客さまに融資を行って、事業や生活の繁栄を金融サービスの側面からサポートしています。今後も「お客さまのお役に立ちます。」「地元と共に歩みます。」「みんなで明るく楽しい職場をつくります。」を経営の基本方針として、地域の中小企業者や住民との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に寄与できるように努めてまいります。

当金庫の概要

名称 神戸信用金庫
本店所在地 神戸市中央区浪花町61番地
理事長 西多 弘行
電話番号 (078)391-8011

経営の基本方針

1. お客さまのお役に立ちます。
2. 地元と共に歩みます。
3. みんなで明るく楽しい職場をつくります。

ビジョン

金庫の価値をさらに大きくし、将来にわたって安定的な収益を確保し、地域でなくてはならない「存在感をもった金庫」となることを目指します。

行動指針

守るべきものを守り、変えるべきものは変え、100周年に向かって、スピード感をもって変化し続けます。

地域のお客さま 会員のみなさま

会員数：23,807人
出資金：1,703百万円
(2021年9月末)



預金積金・出資金

貸出金・支援活動・サービス

神戸信用金庫

役員数：394人
店舗数：26店舗
(2021年9月末)

預金・貸出金などの状況(残高の推移)

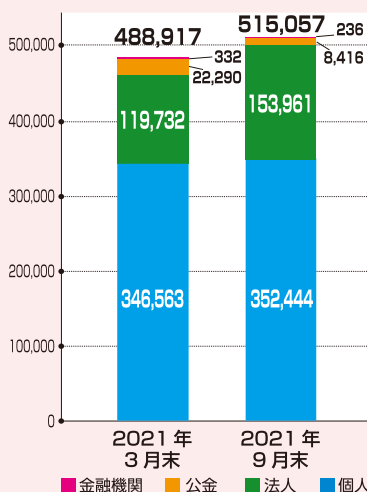
2021年度 上半期の業績を ご報告いたします。

預金については、新規取引件数の増加とともに、法人先と個人先における流動性預金が増加したため、2021年3月末比残高で26,140百万円増加しております。

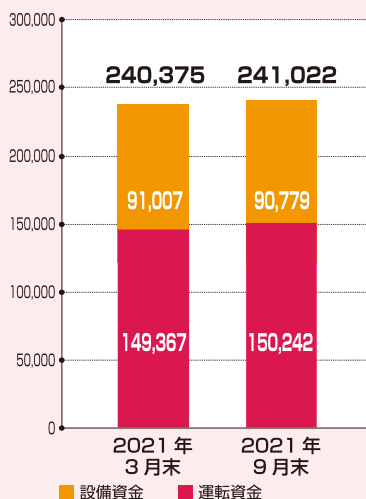
貸出金は事業性融資に積極的に取組み2021年3月末比残高で647百万円増加しております。また、月中平残でも2021年3月末比555百万円増加しております。

預かり資産では、個人向け国債は増加しておりますが、投資信託は株価上昇等による利益確定の換金等により、また、生保年金等は満期や中途解約により減少しており、預かり資産全体では88百万円減少しております。

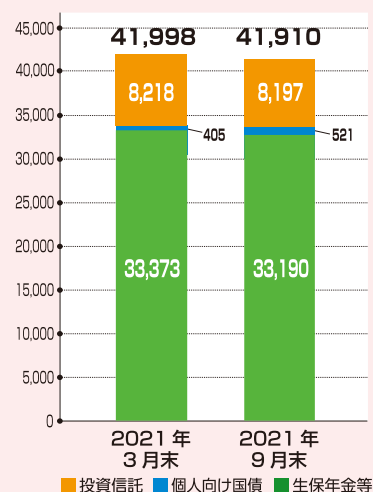
■ 預金・積金残高の推移 (単位:百万円)
(人格別の残高)



■ 貸出金残高の推移 (単位:百万円)
(資金用途別の残高)



■ 預かり資産残高の推移 (単位:百万円)



(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

上半期決算の状況

(金額単位:百万円)

| | |
|-------|-----|
| 当期純利益 | 594 |
|-------|-----|

本業の収益を示すコア業務純益は825百万円を計上しました。また、当期純利益は594百万円を計上しました。

(金額単位:百万円)

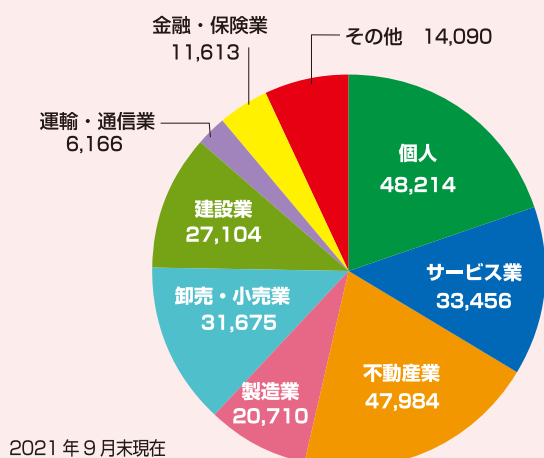
| | 2020年9月 | 2021年9月 |
|--------------------------|---------|---------|
| 業務純益 | 977 | 729 |
| 実質業務純益 | 977 | 729 |
| コア業務純益 | 934 | 825 |
| コア業務純益 (投資信託解約損益を除く。) | 641 | 391 |

上記の数値については、監査法人による監査を受けておりません。

- (注) 1. 業務純益＝業務収益－(業務費用－金銭の信託運用見合費用) 業務費用には、例えば人件費のうちの役員賞与等のような臨時的な経費等を含まないこととしています。また、貸倒引当金繰入額が全体として繰入超過の場合、一般貸倒引当金繰入額(または取崩額)を含みます。
2. 実質業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額 実質業務純益は、業務純益から、一般貸倒引当金繰入額の影響を除いたものです。
3. コア業務純益＝実質業務純益－国債等債券損益 国債等債券損益は、国債等債券売却却、国債等債券償還益、国債等債券売却損、国債等債券償還損、国債等債券償却を通算した損益です。

貸出金の業種別残高の内訳

事業性融資に積極的に取組み、残高は2021年3月末より増加しております。今後も中小企業の皆さまからのお申込みに対しては、特定業種に偏ることなくご希望に沿えるよう積極的対応を心掛けて取り組んでまいります。



貸出金の業種別残高の内訳

(金額単位：百万円)

| | 2021年3月末 | 2021年9月末 |
|--------|----------|----------|
| 個人 | 49,030 | 48,214 |
| サービス業 | 32,175 | 33,456 |
| 不動産業 | 49,180 | 47,984 |
| 製造業 | 20,428 | 20,710 |
| 卸売・小売業 | 30,800 | 31,675 |
| 建設業 | 26,381 | 27,104 |
| 運輸・通信業 | 6,208 | 6,166 |
| 金融・保険業 | 10,660 | 11,613 |
| その他 | 15,501 | 14,090 |
| 合計 | 240,375 | 241,022 |

(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

不良債権の状況

金融再生法(金融機能の再生のための緊急措置に関する法律)に基づく開示債権額は以下のとおりです。当金庫は引き続き、より一層の資産の健全化に努めてまいります。

(金額単位：百万円)

| 区分 | 2021年3月末 | 2021年9月末 |
|-------------------|----------|----------|
| 金融再生法上の不良債権 | 5,764 | 5,716 |
| 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 | 1,210 | 1,362 |
| 危険債権 | 2,900 | 2,752 |
| 要管理債権 | 1,653 | 1,601 |
| 正常債権 | 235,253 | 235,991 |
| 合計 | 241,017 | 241,707 |
| 不良債権比率 | 2.39% | 2.36% |

※記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

- (注) 1.「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
 2.「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないものの、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りが出来ない可能性の高い債権です。
 3.「要管理債権」とは、「3か月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金をいいます。要管理債権には、DDSを実施した553百万円を含めております。
 4.「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権をいいます。上記開示債権には、時価評価を行った金融機関保証付私募債を含めております。

有価証券の時価情報

お客さまからお預かりしている預金・積金の一部を有価証券でも運用しております。

●その他有価証券

(金額単位：百万円)

| | 2021年3月末 | | | | 2021年9月末 | | | |
|---------|----------|------|-------|-------|----------|------|-------|-------|
| | 時価 | 評価差額 | うち益 | うち損 | 時価 | 評価差額 | うち益 | うち損 |
| その他有価証券 | 103,044 | 564 | 1,880 | 1,315 | 89,977 | 484 | 1,544 | 1,059 |
| 株式 | 2,103 | 173 | 237 | 63 | 1,918 | 181 | 252 | 71 |
| 債券 | 51,851 | 99 | 360 | 260 | 50,299 | 153 | 309 | 155 |
| その他 | 49,089 | 290 | 1,282 | 991 | 37,759 | 149 | 981 | 832 |

※記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

- (注) 1.2021年9月末の「評価差額」および「含み損益」は、2021年9月末時点の取得原価(償却原価法適用後)と時価との差額を計上しております。
 2.満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式に係る含み損益状況は以下のとおりです。

●満期保有目的の債券および子会社・関連会社株式

(金額単位：百万円)

| | 2021年3月末 | | | | 2021年9月末 | | | |
|------------|----------|------|-----|-----|----------|------|-----|-----|
| | 帳簿価額 | 含み損益 | うち益 | うち損 | 帳簿価額 | 含み損益 | うち益 | うち損 |
| 満期保有目的の債券 | 29,507 | 347 | 389 | 42 | 29,397 | 408 | 424 | 16 |
| 子会社・関連会社株式 | 31 | - | - | - | 31 | - | - | - |

自己資本の状況（単体）

自己資本比率とは、リスクのある資産に対して自己資本がどれくらいあるかを示す指標です。

2013年度からは新自己資本比率規制（新BIS規制、通称バーゼルⅢ）による自己資本比率算出の精緻化を求められており、本開示についても新BIS規制に従った開示内容となっております。

新BIS規制に基づく自己資本比率は、下記のようになります。

新BIS規制による当金庫の自己資本比率は

14.26% と国内基準の4%を大きく上回っております。

※自己資本比率の算出にあたって、当金庫は標準的手法を採用しております。

自己資本の構成に関する開示事項

単体自己資本比率

（単位：百万円）

| 項目 | 2021年3月末 | 2021年9月末 |
|--|----------|----------|
| コア資本に係る基礎項目 (1) | | |
| 普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額 | 30,848 | 31,443 |
| うち、出資金及び資本剰余金の額 | 1,703 | 1,703 |
| うち、利益剰余金の額 | 29,195 | 29,739 |
| うち、外部流出予定額(△) | 50 | — |
| うち、上記以外に該当するものの額 | — | — |
| コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額 | 186 | 155 |
| うち、一般貸倒引当金コア資本算入額 | 186 | 155 |
| うち、適格引当金コア資本算入額 | — | — |
| 適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額 | — | — |
| 公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額 | — | — |
| 土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の45%に相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額 | — | — |
| コア資本に係る基礎項目の額 (イ) | 31,034 | 31,598 |
| コア資本に係る調整項目 (2) | | |
| 無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライセンスに係るものを除く。）の額の合計額 | 227 | 198 |
| うち、のれんに係るものの額 | — | — |
| うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライセンスに係るもの以外の額 | 227 | 198 |
| 繰延税金資産（一時差異に係るものを除く。）の額 | — | — |
| 適格引当金不足額 | — | — |
| 証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額 | — | — |
| 負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額 | — | — |
| 前払年金費用の額 | 383 | 413 |
| 自己保有普通出資等（純資産の部に計上されるものを除く。）の額 | — | — |
| 意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額 | — | — |
| 少数出資金融機関等の対象普通出資等の額 | — | — |
| 信用金庫連合会の対象普通出資等の額 | — | — |
| 特定項目に係る10%基準超過額 | — | — |
| うち、その他金融機関等の対象普通出資等に該当するものに関連するものの額 | — | — |
| うち、モーゲージ・サービシング・ライセンスに係る無形固定資産に関連するものの額 | — | — |
| うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額 | — | — |
| 特定項目に係る15%基準超過額 | — | — |
| うち、その他金融機関等の対象普通出資等に該当するものに関連するものの額 | — | — |
| うち、モーゲージ・サービシング・ライセンスに係る無形固定資産に関連するものの額 | — | — |
| うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額 | — | — |
| コア資本に係る調整項目の額 (ロ) | 610 | 612 |
| 自己資本 | | |
| 自己資本の額（(イ)－(ロ)） (ハ) | 30,423 | 30,986 |
| リスク・アセット等 (3) | | |
| 信用リスク・アセットの額の合計額 | 204,294 | 206,394 |
| うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額 | △5,025 | △5,025 |
| うち、他の金融機関等向けエクスポージャー | △5,025 | △5,025 |
| うち、上記以外に該当するものの額 | — | — |
| オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額 | 10,798 | 10,798 |
| 信用リスク・アセット調整額 | — | — |
| オペレーショナル・リスク相当額調整額 | — | — |
| リスク・アセット等の額の合計額 (ニ) | 215,093 | 217,192 |
| 自己資本比率 | | |
| 自己資本比率（(ハ)／(ニ)） | 14.14% | 14.26% |

※記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

（注）自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準（2006年金融庁告示第21号）」に基づき算出しております。
 なお、当金庫は国内基準金庫であります。

自己資本の状況（単体）

自己資本の充実度に関する事項

自己資本の充実の状況等について

(1) 自己資本調達手段の概要

自己資本は、主にコア資本に係る基礎項目と調整項目で構成されています。2021年9月期の自己資本額の内容は、当金庫が積み立てている積立金や地域のお客さまからお預りしている出資金等が該当します。

(2) 自己資本の充実度に関する評価方法の概要

自己資本の充実度に関しまして、国内基準である4%を上回っており、経営の健全性・安全性を十分保っております。また、当金庫は、各エクスポージャーが一分野に集中することなく、リスク分散が図られており、繰延税金資産につきましても、自己資本に占める割合も0.37%と少なく、ほとんど依存していません。

一方、将来の自己資本充実策については、年度ごとに掲げる事業計画に基づいた業務推進を通じ、そこから得られる利益による資本の積み上げを第一義的な施策と考えております。なお、事業計画については、貸出金計画に基づいた利息収入や市場環境を踏まえた運用収益など、足元の状況を踏まえた上で策定されております。

当金庫の自己資本の充実の状況等（単体）

（単位：百万円）

| 項目 | 2021年3月末 単体 | | 2021年9月末 単体 | |
|--|----------------|--------------|----------------|--------------|
| | リスク・アセット | 所要自己資本額 | リスク・アセット | 所要自己資本額 |
| イ.信用リスクアセット・所要自己資本の額合計 | 204,294 | 8,171 | 206,394 | 8,255 |
| ①標準的手法が適用されるポートフォリオごとのエクスポージャー | 197,126 | 7,885 | 202,513 | 8,100 |
| 現金 | — | — | — | — |
| 我が国の中央政府及び中央銀行向け | — | — | — | — |
| 外国の中央政府及び中央銀行向け | 60 | 2 | 60 | 2 |
| 国際決済銀行等向け | — | — | — | — |
| 我が国の地方公共団体向け | — | — | — | — |
| 外国の中央政府等以外の公共部門向け | — | — | — | — |
| 国際開発銀行向け | — | — | — | — |
| 地方公共団体金融機関向け | — | — | — | — |
| 我が国の政府関係機関向け | 3,050 | 122 | 2,839 | 113 |
| 地方三公社向け | — | — | — | — |
| 金融機関及び第一種金融商品取引業者向け | 33,882 | 1,355 | 39,088 | 1,563 |
| 法人等向け | 59,560 | 2,382 | 58,874 | 2,354 |
| 中小企業等向け及び個人向け | 33,380 | 1,335 | 35,219 | 1,408 |
| 抵当権付住宅ローン | 5,114 | 204 | 4,822 | 192 |
| 不動産取得等事業向け | 33,867 | 1,354 | 33,812 | 1,352 |
| 三月以上延滞等 | 438 | 17 | 288 | 11 |
| 取立未済手形 | 25 | 1 | 28 | 1 |
| 信用保証協会等による保証付 | 6,933 | 277 | 6,867 | 274 |
| 株式会社地域経済活性化支援機構等による保証付 | — | — | — | — |
| 出資等 | 5,746 | 229 | 5,397 | 215 |
| 出資等のエクスポージャー | 5,746 | 229 | 5,397 | 215 |
| 重要な出資のエクスポージャー | — | — | — | — |
| 上記以外 | 15,069 | 602 | 15,214 | 608 |
| ・他の金融機関等の対象資本等調達手段のうち対象普通出資等及びその他外部TLAC関連調達手段に該当するもの以外のものに係るエクスポージャー | 6,000 | 240 | 6,000 | 240 |
| ・信用金庫連合会の対象普通出資等であってコア資本に係る調整項目の額に算入されなかった部分に関するエクスポージャー | 4,436 | 177 | 4,436 | 177 |
| ・特定項目のうち調整項目に算入されない部分に係るエクスポージャー | — | — | — | — |
| ・総株主等の議決権の百分の十を超える議決権を保有している他の金融機関等に係るその他外部TLAC関連調達手段に関するエクスポージャー | — | — | — | — |
| ・総株主等の議決権の百分の十を超える議決権を保有していない他の金融機関等に係るその他外部TLAC関連調達手段のうち、その他外部TLAC関連調達手段に係る5%基準額を上回る部分に係るエクスポージャー | — | — | — | — |
| ・上記以外のエクスポージャー | 4,632 | 185 | 4,777 | 191 |
| ②証券化エクスポージャー※3 | 267 | 10 | 305 | 12 |
| 証券化 | — | — | — | — |
| STC要件適用分 | — | — | — | — |
| 非STC要件適用分 | 267 | 10 | 305 | 12 |
| 再証券化 | — | — | — | — |
| ③-1.複数の資産を裏付とする資産（所謂ファンド）のうち、個々の資産の把握が困難な資産 | — | — | — | — |
| ③-2.リスク・ウェイトのみなし計算が適用されるエクスポージャー※4 | 11,924 | 476 | 8,600 | 344 |
| ルック・スルー方式 | 11,924 | 476 | 8,600 | 344 |
| マンドート方式 | — | — | — | — |
| 蓋然性方式（250%） | — | — | — | — |
| 蓋然性方式（400%） | — | — | — | — |
| フォールバック方式（1250%） | — | — | — | — |
| ④経過措置によりリスク・アセットの額に算入されるものの額 | — | — | — | — |
| ⑤他の金融機関等の対象資本等調達手段に係るエクスポージャーに係る経過措置によりリスク・アセットの額に算入されなかったものの額 | △ 5,025 | △ 201 | △ 5,025 | △ 201 |
| ⑥CVAリスク相当額を8%で除して得た額 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ⑦中央清算機関関連エクスポージャー | — | — | — | — |
| ロ.オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額 | 10,798 | 431 | 10,798 | 431 |
| ハ.単体総所要自己資本額(イ+ロ) | 215,093 | 8,603 | 217,192 | 8,687 |

※記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

(注) 1. 所要自己資本の額=リスク・アセット×4%

2. 「エクスポージャー」とは、資産（派生商品取引によるものを除く）並びにオフ・バランス取引及び派生商品取引の与信相当額等のことです。

3. 「三月以上延滞等」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から3か月以上延滞している債務者に係るエクスポージャー及び「我が国の中央政府及び中央銀行向け」から「法人等向け」（「国際決済銀行等向け」を除く）においてリスク・ウェイトが150%になったエクスポージャーのことです。

4. オペレーショナルリスクは、当金庫は基礎的手法を採用しています。

$$\left(\text{オペレーショナル・リスク（基礎的手法）の算定方法} \right) \frac{\text{粗利益（直近3年間のうち正の値の合計額）} \times 15\%}{\text{直近3年間のうち粗利益が正の値であった年数}} \div 8\%$$

5. 単体総所要自己資本額=単体自己資本比率の分母の額×4%

オペレーショナル・リスクについて

(1) リスク管理の方針及び手続きの概要

当金庫では、オペレーショナル・リスクを「内部プロセス・人・システムが不適切であることもしくは機能しないこと、または外生的事象が生起することから当金庫に生じる損失にかかるリスク」と定義しております。

当金庫は、オペレーショナル・リスクについては、事務リスク、システムリスク、法務リスク、人的リスク、有形資産リスク、風評リスク等の各リスクを含む幅広いリスクと考え、管理体制や管理方法に関するリスク管理の基本方針をそれぞれのリスクについて定め、確実にリスクを認識し、評価しております。

これらリスクに関しましては、部会又はリスク管理委員会等におきまして、協議・検討するとともに、必要に応じて経営陣による、理事会等において、報告する態勢を整備しております。

(2) オペレーショナル・リスク相当額の算出に使用する手法の名称

当金庫は基礎的手法を採用しております。

■「医療にエール！」寄附金贈呈

2020年10月1日(木)～2021年4月2日(金)まで、医療機関への寄附活動を行うことで地域貢献の一助とすることを目的として、新型コロナウイルス対策応援定期預金「医療にエール！」を取扱いいたしました。お客さまには趣旨をご理解いただき、概ね、募集総額300億円に達しましたので寄附を行いました。



2021年4月20日(火)
神戸市立医療センター
中央市民病院



2021年4月26日(月)
明石市立 市民病院



医療にエール!!
お取扱中!
【2022年4月4日まで】

お取引先への支援活動

ウィズコロナの中で、お取引先の経営基盤が充実して収益力が高まるよう「知識」を融通し、金融から「知融」へを実践します！

■神戸信金ビジネススクラブ 産学連携研究会を開催

2021年4月13日(火)、本店7Fホールにおいて神戸信金ビジネススクラブ産学連携研究会の第1回合同研究会を開催。「世界経済と金融政策の展望～アフターコロナを考える～」と題した基調講演が行われ、30名のお取引先が参加されました。



講師：SMBC日興証券
チーフマーケットエコノミスト
丸山 義正 氏

■ラジオ関西番組で取引先企業のPR支援

今年度の「こうべしんきん三上公也の企業訪問」は、コロナ禍にあっても工夫やチャレンジをして、元気に頑張っている取引先の取組みをお届けすることをコンセプトとしています。



ラジオビで情報発信の支援を強化しました。掲載記事はこちら！

■神戸信金ビジネススクラブの活動

今年度の定時総会を2021年7月7日(水)、ホテルオークラ神戸において開催いたしました。

経済ジャーナリストの須田 慎一郎(すだ しんいちろう)氏による「どうなる政治・経済 ～日本再生のために何が必要か～」と題した講演を開催、ビジネススクラブ会員107名、総代32名、計139名が参加されました。



講師：経済ジャーナリスト
須田 慎一郎 氏

■こうべしんきんビジネスメッセ2021の開催

2021年9月2日(木)、3日(金)の2日間、神戸国際展示場において「こうべしんきんビジネスメッセ2021」を開催しました。本会場ではお取引先18社(団体)が出展され、会社の技術・製品・サービスなどの発表・PRの場として活用いただきました。また、神戸大学大学院 忽那 教授のご協力により「ファミリービジネスにおける両利き経営の実践と課題」と題したセミナーを開催いたしました。



「こうべしんきんビジネスメッセ」
会場の様子

「神戸大学大学院 忽那 教授」
によるセミナーの様子



「原田伸郎のびのび金ようび」
ラジオ関西スタジオとの
生中継の様子

今年は新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、開会式を中止としたり、事前予約システムを活用して参加者を分散させたりするなどの感染対策がとられていました。

店舗一覧

26店舗 (金融機関コード 1680)

2021.11.1 現在

| 店名 | 住所 | 電話番号 | 店名 | 住所 | 電話番号 |
|------------|-------------------------------|----------|------------|------------------------------|----------|
| 本店営業部 | 〒650-0035 神戸市中央区浪花町61番地 | 321-7711 | 西神戸支店 | 〒653-0042 神戸市長田区二葉町4丁目7番11号 | 611-5001 |
| 法人営業部 | 〒650-0035 神戸市中央区浪花町61番地2階 | 321-7780 | 板宿支店 | 〒654-0012 神戸市須磨区飛松町1丁目1番6号 | 732-4411 |
| 北野法人営業部 | 〒650-0003 神戸市中央区山本通2丁目8-12-3階 | 222-2881 | 月見山支店 | 〒654-0064 神戸市須磨区北町1丁目2番1号 | 731-2826 |
| 東灘支店 | 〒658-0084 神戸市東灘区甲南町2丁目7番10号 | 441-0221 | 須磨支店 | 〒654-0055 神戸市須磨区須磨浦通4丁目7番6号 | 731-0634 |
| 石屋川支店 | 〒657-0034 神戸市灘区記田町2丁目3番19号 | 841-2681 | 白川台支店 | 〒654-0103 神戸市須磨区白川台3丁目62番1号 | 793-0811 |
| 西灘支店 | 〒657-0831 神戸市灘区水道筋4丁目2番1号 | 802-2031 | 塩屋支店 | 〒655-0872 神戸市垂水区塩屋町3丁目15番19号 | 753-5555 |
| 春日野支店 | 〒651-0079 神戸市中央区東雲通1丁目1番18号 | 251-1011 | 垂水支店 | 〒655-0893 神戸市垂水区日向2丁目2番1号 | 707-4451 |
| ポートアイランド支店 | 〒650-0046 神戸市中央区港島中町3丁目2番6 | 302-3711 | 学園都市支店 | 〒651-2103 神戸市西区学園西町1丁目3番地の2 | 792-1731 |
| 中央支店 | 〒652-0802 神戸市兵庫区水木通1丁目1番8号 | 511-2001 | 西神ニュータウン支店 | 〒651-2273 神戸市西区糀台5丁目6番1号 | 991-1112 |
| 兵庫支店 | 〒652-0806 神戸市兵庫区西柳原町5番7号 | 671-5924 | 玉津支店 | 〒651-2135 神戸市西区王塚台7丁目85番地 | 923-4001 |
| 御崎支店 | 〒652-0875 神戸市兵庫区浜中町1丁目6番2号 | 681-6121 | 朝霧支店 | 〒673-0866 明石市朝霧町3丁目15番10号 | 913-5551 |
| 西鈴蘭台支店 | 〒651-1131 神戸市北区北五葉1丁目3番10号 | 592-7001 | 西明石支店 | 〒673-0001 明石市明南町1丁目3番12号 | 927-2617 |
| 長田支店 | 〒653-0812 神戸市長田区長田町2丁目1番6号 | 621-6001 | 魚住駅前支店 | 〒674-0081 明石市魚住町錦が丘4丁目7番1号 | 947-4151 |

夢ある未来のお手伝い! 親近バンク

神戸信用金庫

www.shinkinbank.co.jp